

RIO 2016 頑張れ 十勝の星

— 応援メッセージ紹介 —
 メッセージの宛先はこちら
FAX 0155-25-2700
Eメール shakai@kachimai.co.jp
WEB kachimai.jp/form/rio2016/

匿名投稿で
 応募もOK!!



【長野】マウンテンバイクの第20回全日本選手権大会(日本自転車競技連盟主催)は16、17の両日、長野県の富士見パノラマ・リゾートで行われ、最終日の男子クロスカントリー・エリートクラス(30・39キ)で、リオデジャネイロ夏季五輪代表の山本幸平(TRÉK FACTORY)国際自然環境アウトドア専門学校、帯農高出が1時間39分18秒60で2年連続8度目の優勝を達成した。3度目の五輪に向けて、国内第一人者の力を示した。(松村智裕)

山本(TREK) 帯農高出 全日本連覇

MTB 雄姿見せつけリオへ

【クロスカントリー男子エリート】
 1時間39分18秒60で優勝した山本幸平の力強い走り (山川静子撮影)



体調不良でも圧勝 3回目の五輪「調整大切に」

最後のホームストレートで速度を落とし、沿道の観客とハイタッチ。両手でガッツポーズをし、「ナンバワン」を示すように右手人さし指を掲げてゆつくりとゴールを切った。それでも2位とは1分23秒59の大差。終盤に両脚をつりながらも、山本幸平がリオ五輪前に雄姿を見せつけた。最初に走る2・79キのス



優勝し感慨深げに話す山本幸平 (山川静子撮影)

ターグループでは後続にびたりと追走されたが、1周人旅となった。残り2周。(4・6キ)を終えた時点「リオをイメージして追い

込もうと思った」と、スキーム場を利用した111分の高低差があるコースで前周よりも25秒タイムを短縮。先頭の記録によつて遅れた選手が足切りされるため、出場71人中完走したのはわずか13人と国内では他と一線を画す推進力を示した。3日の世界選手権(チェコ)は41位、10日のワールドカップ(W杯、スイス)ではバンクのトラブルもあったが37位と不本意な成績に終わった。ヨーロッパから日本に移動し、この日は

【男子】◇クロスカントリーエリート(スタートループ2・79キ、4・6キ×6周計30・39キ) ①山本幸平(TREK FACTORY) 国際自然環境アウトドア専門学校、帯農高出 1時間39分18秒60 ②平野星矢(長野・プリンスアンカー) 1時間40分42秒19 ③中原義貴(大阪・BH SR サンツア) 1時間41分56秒06

3週連続のレース。加えて、帰国後に風邪を引き、体調は万全ではなかったが「日本では負けられない」と意地があった。

「日本ですけど、世界を見るとまだまだ成長しなきゃいけないところがある」。表彰式では話すうちに悔しさがこみ上げ、声が震えた。「これを練習のモチベーションにしていきたい

い」と力を込める。今後は長野県松本市に滞在し、8月2日に日本を出発。カナダでのW杯(8月6、7日)参戦後にリオ入りする予定。「前回は練習のやり過ぎで体重が落ちた。今回は日々の調整を大切に、五輪で8位入賞を狙いたい」。大舞台は2度経験済み。約5週間後の8月21日へしっかりと照準を定める。